

平成30年度 第1回 開成町協働推進会議 会議録

【日時】 平成30年4月26日（木） 10:00～12:00
【場所】 開成町役場 203・204会議室
【出席者】 高島委員長 柄子副委員長 浅田委員
小田委員 澁谷委員
【事務局】 町民サービス部自治活動応援課
【議題】 (1) 開成町協働推進計画進捗状況の評価・検証
(2) 開成町民意識調査の質問項目について

主旨

町では、町民との協働によるまちづくりを推進するため、協働推進に関し優れた識見を有する方からなる開成町協働推進会議を設置している。

今回の会議では、平成30年度を計画最終年度としている開成町協働推進計画の評価及び平成31年度以降の計画策定スケジュールと策定方針について、委員から意見をいただいた。また、5月に実施する町民意識調査の質問項目について検討した。

議題1 開成町協働推進計画進捗状況の評価・検証について

事務局説明

資料2、3により協働推進計画の評価及び策定方針について説明。

主な意見等

- 資料2について、数値をピックアップして評価しようということか。推進計画では、第4章に施策展開の基本方針や方策を示している。これこそ、推進計画のメインとなるものなので、これに対してコメントをつけていった方が、よりよい実績評価となるのではないか。
- 評価には、「数」と「質」がある。数値としては大きな変化がなくても、実施方法などの内容がブラッシュアップされている事業もある。それぞれの内容についても評価した方がよい。
- 意識の醸成不足が課題となっている。自治会の運営にも支障が出て、体制が弱体化してしまう。ボランティアに取り組んでいる人は協働にも理解があるが、そうではない人はやらされている感がある。これは、この会議内で議論が必要。
- たばこの吸い殻を使ってアンケート調査をすることで、ごみのポイ捨てが減ったという社会行動学の事例がある。直接働きかけるのではなく、意識しなくとも自然と行動に結びつくということもあるので参考になる。
町内の団体については、やれる人がいくつもかけもちして、何人かの力でも

っているところがある。その人たちのがんばりだけでなく、様々な形での参画を願う。

- 酒匂川クリーンデーなど、長年継続して実施していくうちに、本来の目的が消えてしまう。何年かに一度は、協働の意味や行事のあり方、財政的な利点についてPRしてはどうか。
- 昨年、小学校の運動会の日グラウンドが雨でぬかるんでしまったことがあったが、スマートフォンのメールで保護者に呼びかけたところ、大勢のボランティアが集まった。広報アイテムの活用も工夫できると思う。
- 以前、自治会の組に関する規約改正をしたことがあるが、自分たちだけではとても難しかった。行政指導が必要などところがある。町に自治活動応援課があり、頼ることができるということを知っておく必要がある。いきなり協働といわれても、なかなか理解できない。
- 課題として、「相互評価」を挙げているが、団体ごとに関わり方が違う。
事務局→現在の評価が、行政からの一方的なものになってしまっているで、相手方の意見を吸い上げたい。しかし、評価が負担になってしまっは意味がないので、うまく取り組めるような方法があればよいと考えている。
- 事業が完了するタイミングで、事業の担当者が協働相手から必ず聞き取りをするようにしてはどうか。意見を吸い上げる姿勢が大切となる。
- 対策として、「協働研修の実施」とあるが、どういったものを想定しているのか。職員と町民と一緒に研修を受け、様々な面からアプローチすることが必要と考える。
事務局→研修の実施形態としては、専門の講師を招く、職員が講師を務める、自治会長など協働に携わる方を講師に招くなどが考えられる。
職員、町民ともに広く研修を受講できるようにしたい。

【資料3について】

- 総合計画と連携を図って改定作業を進める必要がある。

議題2 開成町民意識調査の質問項目について

事務局説明

資料4により開成町民意識調査の質問項目について説明。

主な意見等

- 子ども向けのアンケートは難しい。学校で実施するとなれば、ボランティア活動をしたくない子も丸をつけてしまう。ボランティアの興味分野などを聞いてみてはどうか。
事務局→掲載スペースに限りがあることから、選択肢が多い質問は難しい。
- 「協働」「ボランティア」という言葉ではイメージがわからないのでは。具体

的な事例を示した方がよい。

- 一般調査項目(案)の②は、部分的すぎるように感じる。そもそも「協働」の意味がわからない方を対象とした調査となるので、問1で「協働を知っているか」、問2で「協働のまちづくりが進んでいると思うか」、問3で「地域活動等に参加したことがあるか」と段階を踏んで質問してはどうか。

【一般アンケート項目】

問1

町民が主役のまちづくりを目指す開成町では、町と町民が協力して実施する協働事業や地域活動（自治会、阿波おどりなど）、ボランティア活動などを支援する「協働のまちづくり」を目指していますが、知っていますか。

（よく知っている、なんとなく知っている、知らない）

問2

開成町は、町民が中心となって「協働のまちづくり」が進められているまちだと思いますか。

（そう思う、おおむねそう思う、どちらともいえない、あまりそう思わない、思わない）

問3 地域活動（自治会、阿波おどりなど）やボランティア活動に参加したことがありますか。

（現在参加している、以前参加したことがある、これから参加したい、参加したくない）

※一般調査は、18歳以上の町民のうち2,000人を無作為抽出して郵送によるアンケートを実施予定。

【中学生アンケート項目】

問1

地域活動（自治会、阿波おどりなど）やボランティア活動に参加したいと思えますか。

（はい、いいえ）

問2

問1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。参加したくない理由は何ですか。次のうちから最もあてはまるものを選んでください。

（そのような活動があることを知らない、時間がない、興味がない）

※中学生アンケート調査は、文命中学校2年生を対象として学校でアンケートを配布してアンケートを実施予定。

※前回は小学生も対象としたが、今回は中学生のみ。